


令和7年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

18

国有林	307
都道府県	78
市町村	46
森林組合	30
林業事業者 (森林組合を除く)	82
研究機関	11
他省庁	1
その他	28
合計	583





583

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	特に効率的な施業を推進する森林の有無 (国有林)	出席者	目的	内容	写真	
苗木育苗技術の勉強会	5月21日	根釧東部森林管理署	●別海町 (ベツカイブルーム)		国有林	24名	伐採後の再造林の低コスト化が期待できるコンテナ苗の導入及び利用拡大に向けて、コンテナ苗の育苗技術を発注者側である職員が理解する。	コンテナ苗の生産者の方にコンテナ苗の種子の配布からコンテナ苗を生産するまでの流れや、根張りをよくする工夫、出荷時期に応じた育苗方法などについて説明してもらい、その後幼苗の移植作業を体験した。移植作業では、発芽1か月程のカラマツを播種床からコンテナへ移植。幼苗はとて小さく繊細なため、移植にあたっては根や茎を傷つけないようとても慎重に行う必要があることなどを学んだ。	
					都道府県	名			
					市町村	名			
					森林組合	名			
					林業事業者 (森林組合を除く)	名			
					研究機関	名			
					他省庁	名			
					その他	名			
合計	24名								

播種床からコンテナへの移植作業の体験



令和7年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

<p>コンテナ苗の植栽技術研修会</p>	<p>6月4日</p>	<p>主催：檜山振興局森林室 共催：檜山森林管理署</p>	<p>●乙部町（ガロ一国有林1478林班と林小班）</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>5名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>9名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>3名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>6名</td></tr> <tr><td>林業事業体（森林組合を除く）</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>23名</td></tr> </table>	国有林	5名	都道府県	9名	市町村	3名	森林組合	6名	林業事業体（森林組合を除く）	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	23名	<p>一般民有林でのコンテナ苗の普及推進を図る。</p>	<p>植付作業現場において、市町村職員・森林組合職員に対し、コンテナ苗の植栽技術及び作業工程等を署の担当者と事業者から実技を交えて説明をした。 意見交換では、植付に使用する器具の費用やコンテナ苗の単価など、植付に係るコスト面について質問が出された。</p>	 <p>コンテナ苗に係る意見交換の様子</p>
国有林	5名																								
都道府県	9名																								
市町村	3名																								
森林組合	6名																								
林業事業体（森林組合を除く）	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	23名																								
<p>機械下刈作業の現地見学会</p>	<p>6月20日</p>	<p>空知森林管理署北空知支署</p>	<p>●幌加内町（幌加内国有林52林班）</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>12名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>3名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体（森林組合を除く）</td><td>1名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>4名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>20名</td></tr> </table>	国有林	12名	都道府県	名	市町村	3名	森林組合	名	林業事業体（森林組合を除く）	1名	研究機関	4名	他省庁	名	その他	名	合計	20名	<p>幌加内町長留内ほろたち地域森林整備推進協定に基づく現地検討会と試験地におけるハンマーナイフモアを使用した下刈作業の見学し、これまでの人力下刈との比較、利点・課題・改善点などについて意見交換を行うことで、地元自治体・地域民有林におけるスマート林業推進の取り組みにつなげる。また、国有林職員の民有林連携・支援、スマート林業に対する意識醸成を行う。</p>	<p>協定に基づく見学会として実施したが、機械下刈実証試験地におけるハンマーナイフモアを使用した下刈作業の検証であったことから、当日は森林整備第一課から3名も出席。 当日は機械トラブルにより作業自体見学できなかったが、前日の作業箇所を見学しながら、地形による作業への影響や使用感について、オペレーターも交えて意見交換を行った。 研究機関として北大研究林から4名、乗車式機械の見学を希望する事業体1名も参加。</p>	 <p>機械稼働の様子</p>
国有林	12名																								
都道府県	名																								
市町村	3名																								
森林組合	名																								
林業事業体（森林組合を除く）	1名																								
研究機関	4名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	20名																								
<p>リモコン式草刈機勉強会</p>	<p>7月1日</p>	<p>北海林友株式会社 十勝東部森林管理署</p>	<p>●足寄町（芽登国有林307ぬ林小班）</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>6名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>3名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体（森林組合を除く）</td><td>15名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>24名</td></tr> </table>	国有林	6名	都道府県	名	市町村	3名	森林組合	名	林業事業体（森林組合を除く）	15名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	24名	<p>下刈作業の軽労化を推進する。</p>	<p>下刈りの軽労化のため、リモコン式草刈機の操作説明をし、リモコン式草刈機による下刈りの実演を行った。</p>	 <p>①説明会の様子</p>  <p>②機械稼働の様子</p>
国有林	6名																								
都道府県	名																								
市町村	3名																								
森林組合	名																								
林業事業体（森林組合を除く）	15名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	24名																								



令和7年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

リモコン小型ハンマーナイフ式刈払機の現地検討会	7月11日	上川南部森林管理署	●占冠村（トマム国有林252林班(ほ小班)	国有林	15名	<p>下刈り作業の省力化に向けて、地域の林業関係者に操作方法や機械の性能について理解を深め、導入に向けた取組を推進する。</p>	<p>リモコン小型ハンマーナイフ式刈払機の実演及び操作体験、国有林の「新しい林業」の取組（造林事業の効率化・軽労化の取組、造林事業の今後の方針、機械下刈中長期見通し等）について説明し、意見交換を行った。</p> <p>機械を操作体験した者からは「想像していたより、機械のスピードが速い。」「刈幅が広く、クローラ部分も刈れる点が良い」などの好意的な感想を得られるとともに、参加者からは「稼働時間の長さや、乗車式刈払い機と比較したメリットデメリット」、「作業の際に植栽木の位置が分からず操縦者も機械と一緒に動く必要があるため、省力化につなげるための工夫や、他の作業での活用」等の質問が出るなど関心が高いことが示された。また、森林管理署に対しては「国有林が先駆的に取り組んでおり、今後も現地検討会を続けて欲しい」との要望があった。</p>	 <p>操作体験中の様子</p>
				都道府県	7名			
				市町村	6名			
				森林組合	2名			
				林業事業体（森林組合を除く）	6名			
				研究機関	4名			
				他省庁	名			
				その他	名			
				合計	40名			
大型機械地拵箇所の植生回復状況現地見学会	7月15日	留萌南部森林管理署	●小平町（達布国有林1165林班へ小班)	国有林	15名	<p>人工林が利用期をむかえており、今後は主伐後の伐採跡地における再造林を効率的かつ着実に推進する必要がある。一方で造林事業従事者数の減少など今後の造林事業においては多くの課題を抱えており、森林施業の省力化（軽労化）等に向けて各種取組を検討する必要があることから、出席者の意見をいただき作業手法の改善等を検討していく。</p>	<p>令和5年度に大型機械地拵を行い、異なる仕様（プロットA：500本/ha、プロットB：1,500本/ha）でクリーンラーチを植栽した箇所において、令和6年度は下刈り作業を省略できたが、令和7年度は特にプロットBにおいて下層植生が繁茂し、植栽木の被圧が見られることから、それぞれのエリアの下層植生の回復状況を確認し、植生回復の原因及び作業手法の改善等について検討した。プロットAは傾斜も緩やかでくぼみも少ない状況、プロットBも傾斜は緩やかだが全体的にくぼみが多く存在しており、降雨等が溜まりやすく植生が回復しやすい環境であることから、今後は雨水等をスムーズに流すためくぼみを無くす不陸均しの実施も検討していく。</p>	 <p>植栽した箇所での改善等検討の様子</p>
				都道府県	10名			
				市町村	名			
				森林組合	1名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				他省庁	名			
				その他	名			
				合計	26名			

令和7年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)



令和7年度「新しい林業」の推進にかかわる現地検討会	9月2日	網走西部森林管理署西紋別支署	●滝上町（札久留国有林206林班に小班）	国有林	41名	従来型の人力作業で行ってきた造林作業について、新たな林業機械の導入による造林作業の軽労化を図るため、効果的な活用等に向け、林業関係者と意見交換を行う。	製品生産事業と造林事業の一括発注箇所において実施する地拵作業について、請負事業体が導入したラジコン式林業機械を使用して、実際の作業地で急傾斜地での作業や下層植生が笹地での状況、伐根処理などの作業を見学してもらった。また、参加した事業体の方にも機会を操作してもらい国有林職員及び事業体で意見交換を行った。	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	1名			
				林業事業体（森林組合を除く）	13名			
				研究機関	名			
				他省庁	名			
				その他	2名			
合計	57名							
機械地拵作業の現地見学会	9月3日	空知森林管理署北空知支署	●深川市（湯内国有林537林班）	国有林	61名	①地拵機械作業の見学と意見交換 ②地元自治体・民有林へのスマート林業推進 ③国有林職員の意識醸成	大型の地拵機械を使用している作業を見学し、利点・課題・改善点などについての意見交換を行うことで、地元自治体・地域民有林におけるスマート林業推進の取り組みにつなげた。また、国有林職員の民有林連携・支援、スマート林業に対する意識醸成を行った。	
				都道府県	名			
				市町村	7名			
				森林組合	2名			
				林業事業体（森林組合を除く）	8名			
				研究機関	3名			
				他省庁	名			
				その他	名			
合計	81名							

ラジコン式林業機械使用し意見交換

大型の地拵機械使用の様子



令和7年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

<p>生産・造林一括発注事業に係る機械地拵の現地見学会</p>	<p>10月15日</p>	<p>日高南部森林管理署</p>	<p>●新冠町（里平国有林2068林班に小班）</p>	<p>国有林 8名</p>	<p>リモコン式マルチングキャリアを使用した地拵の実演の見学による理解の醸成等。</p>	<p>(株)王子フォレストリーが請負っている生産・造林一括発注事業において、試験的にリモコン操作式マルチキャリアを使用し現地で事業者から説明を行った。意見交換では、リモコンの操作性、急傾斜面での作業効率、運搬方法、安全性、切削の摩耗の状況などについて質問があった。</p>	 <p>リモコン式マルチキャリアに関する意見交換</p>
				<p>都道府県 名</p>			
				<p>市町村 2名</p>			
				<p>森林組合 名</p>			
				<p>林業事業体（森林組合を除く） 7名</p>			
				<p>研究機関 名</p>			
				<p>他省庁 名</p>			
				<p>その他 名</p>			
<p>合計 17名</p>							
<p>民有林・国有林森林施業技術交流会</p>	<p>10月28日</p>	<p>網走西部森林管理署</p>	<p>●遠軽町（瀬戸瀬国有林20林班ほか）</p>	<p>国有林 12名</p>	<p>森林施業の技術向上を図る。</p>	<p>オホーツク総合振興局西部森林室と交互に現地検討会を開催しており、今年度は網走西部署が主催。機械下刈を今後進めるために、令和6年度より皆伐・複層伐箇所において大型機械地拵（全刈）・植付（低密度と対象区）を実施してきており、その現地を森林室の人たちに見てもらい意見交換を行った。</p> <p>・森林室でも今後推進していく方向と合致した内容で参考になった。</p> <p>・下刈機械導入への取組が良くわかった。</p> <p>・低密度植栽と対象区の今後の比較が楽しみ。</p> <p>・保安林内であるため、植栽本数の足かせによる苗間の調整等共通の問題があることを改めて感じた。</p> <p>等々の意見があった。</p>	 <p>地拵箇所を見学する参加者</p>
				<p>都道府県 12名</p>			
				<p>市町村 名</p>			
				<p>森林組合 名</p>			
				<p>林業事業体（森林組合を除く） 名</p>			
				<p>研究機関 名</p>			
				<p>他省庁 名</p>			
				<p>その他 名</p>			
<p>合計 24名</p>							



令和7年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

<p>造林低コスト化勉強会</p>	<p>10月28日</p>	<p>留萌北部森林管理署</p>	<p>●羽幌町（築別国有林2202林班は小班</p>	<p>有</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>国有林</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>都道府県</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>市町村</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>森林組合</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>林業事業体（森林組合を除く）</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>研究機関</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>他省庁</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15名</td> </tr> </tbody> </table>	国有林	14名	都道府県	名	市町村	1名	森林組合	名	林業事業体（森林組合を除く）	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	15名	<p>「造林の低コスト化」について、管内町村林務対象者等を対象に、国有林での事例等を紹介し、民有林への活用及び普及の参考となる情報の共有。</p>	<p>今年度に新しい林業仕様として低密度植栽した箇所において、「造林低コスト化勉強会」として、現地において下刈機械を想定した地拵や低密度植栽の概要説明及び事例紹介を行った。</p>	 <p>現地概要説明の様子</p>
国有林	14名																								
都道府県	名																								
市町村	1名																								
森林組合	名																								
林業事業体（森林組合を除く）	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	15名																								
<p>請負事業体を対象にした「低コスト造林技術の普及」現地意見交換会</p>	<p>11月11日</p>	<p>十勝西部森林管理署東大雪支署</p>	<p>●新得町（屈足国有林1319ほと林小班）</p>	<p>有</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>国有林</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>都道府県</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>市町村</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>森林組合</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>林業事業体（森林組合を除く）</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>研究機関</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>他省庁</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14名</td> </tr> </tbody> </table>	国有林	6名	都道府県	名	市町村	名	森林組合	名	林業事業体（森林組合を除く）	8名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	14名	<p>今後の森林整備と「新しい林業」の推進。</p>	<p>支署管内の林業事業体等を対象に、造林作業の軽労化や効率化を目指した局や支署の取組について情報提供を行うとともに、下刈りを省略した実証地を見てもらい、意見交換を行った。</p> <p>事業者からは「コンテナ苗は裸苗に比べて重いため、フォワーダなど重機で運搬しているのが現状。経費を見込めないか」、「斜面の上下作業に変わりはないので、大きな省力化にはならないのではないか」、「リモコン草刈機を使っても炎天下での作業負担は依然として課題が残る」、「民有林と国有林で地拵え・植栽の仕様が統一できれば、機械購入を検討できる」などといった事業者の視点からの意見があった。</p>	 <p>現地での意見交換の様子</p>
国有林	6名																								
都道府県	名																								
市町村	名																								
森林組合	名																								
林業事業体（森林組合を除く）	8名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	14名																								





令和7年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

<p>市町村、森林組合新任職員等技術研修会</p>	<p>11月13日</p>	<p>主催：十勝総合振興局林務課・森林室 共催：十勝西部森林管理署東大雪支署</p>	<p>●新得町（屈足国有林1319ほと林小班）</p>	<p>有</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>4名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>11名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>4名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>7名</td></tr> <tr><td>林業事業体（森林組合を除く）</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>26名</td></tr> </table>	国有林	4名	都道府県	11名	市町村	4名	森林組合	7名	林業事業体（森林組合を除く）	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	26名	<p>クリーンラーチコンテナ苗植栽による下刈作業の省略実例を紹介し、市町村や森林組合の新任者における専門的な技術や知識の向上を目指す。</p>	<p>昨年度、当支署が主催した振興局や市町村職員を対象にした同地の現地説明会に参加した森林室の職員より、新任の職員に紹介したいとの要望があったことから、同地を研修地に選定し、植栽当時に実施した現地検討会における参加者の反応などを紹介しながら現地の概要等を説明した。 研修生からは「カラマツの下刈り省略の可能性」、「大型機械地拵可能な傾斜角度」、「笹剥ぎ後の表土流出」についての質問や意見があり、支署の担当者が丁寧に説明。</p>	 <p>現地概要説明の様子</p>
国有林	4名																									
都道府県	11名																									
市町村	4名																									
森林組合	7名																									
林業事業体（森林組合を除く）	名																									
研究機関	名																									
他省庁	名																									
その他	名																									
合計	26名																									
<p>遠軽町・遠軽地区森林組合との『新しい林業』勉強会</p>	<p>11月13日</p>	<p>網走西部森林管理署</p>	<p>●遠軽町（瀬戸瀬国有林 74林班） ●湧別町（芭露国有林 82林班）</p>	<p>有</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>8名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>3名</td></tr> <tr><td>林業事業体（森林組合を除く）</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>11名</td></tr> </table>	国有林	8名	都道府県	名	市町村	名	森林組合	3名	林業事業体（森林組合を除く）	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	11名	<p>厳しい造林作業においては、軽労化をしていくことが重要課題であることから、国有林で行っている取組を地域の林業関係者に見てもらい、民有林への普及につなげる場として意見交換を実施した。</p>	<p>下刈の機械化を推進するため、国有林内で令和6、7年度に行った大型機械地拵（全刈）箇所をみてもらい、意見交換を実施。民有林では森林所有者・事業を執行する者が一番良い（補助金と作業のしやすさから）と思える段切りで行う等高線方向の大型機械で地拵をし、植栽本数は1900本がメイン。 現時点では、一般民有林への導入は難しいことから、森林所有者へ現状の造林作業従事者が減少、労働条件が厳しい等を理解してもらうことが必要。</p>	 <p>現地概要説明の様子</p>
国有林	8名																									
都道府県	名																									
市町村	名																									
森林組合	3名																									
林業事業体（森林組合を除く）	名																									
研究機関	名																									
他省庁	名																									
その他	名																									
合計	11名																									



令和7年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

大型機械地拵に関する現地検討会	11月14日	根釧東部森林管理署	●別海町（西春別国有林629林班）	有	国有林	8名	国有林では地拵作業の低コスト化及び軽労化を図るため、大型機械による地拵の普及拡大を進めていると。先般、林政連絡会議において大型機械地拵に関する現地検討会の開催について要望があったことから、民有林で事業を行っている関係者に対して大型機械地拵について理解を深めてもらうため実施。	大型機械地拵の概要、造林作業の軽労化、従来作業とのコスト比較について説明を行った後、大型機械による地拵えを見学した。参加者からは作業効率や傾斜地での実施方法などについて質問があった。	
					都道府県	4名			
					市町村	4名			
					森林組合	4名			
					林業事業者（森林組合を除く）	6名			
					研究機関	名			
					他省庁	名			
					その他	名			
合計	26名								
新しい林業の推進に向けた現地検討会	11月19日	日高北部森林管理署	●平取町（振内国有林1087林班は小班）	有	国有林	16名	令和7年3月7日に開催された日高振興局森林室との「地域林業の課題解決に向けた打合せ」において示された要望に応え、国有林におけるコンテナ苗活用の先行事例を紹介し、新しい林業の取組と併せてコンテナ苗の普及促進を図るため。	北海道森林管理局が推進する、下刈回数の削減や省力化、大型機械による地拵え、低密度植栽、一貫作業システムなどによる「新しい林業」の取組を紹介した。また、地域の要望に基づき、コンテナ苗を活用した施業に焦点を当て、その特徴や利点を説明し、植付体験を行った。	
					都道府県	2名			
					市町村	5名			
					森林組合	2名			
					林業事業者（森林組合を除く）	2名			
					研究機関	名			
					他省庁	1名			
					その他	名			
合計	28名								
									稼働中の機械を見学
									
									現地での資料説明の様子
									
									コンテナ苗の植付体験の様子

令和7年度 現地検討会等実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

<p>大型機械地拵にかかる意見交換会</p>	<p>11月21日</p>	<p>胆振東部森林管理署</p>	<p>●厚真町総合福祉センター</p>	<p>有</p> <table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>3名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>5名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>1名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>10名</td></tr> </table>	国有林	3名	都道府県	名	市町村	5名	森林組合	1名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	1名	合計	10名	<p>新しい林業の取組を紹介し、地域の林業関係者の知識・技術の向上を図る。</p>	<p>厚真町から、「地元林業事業体を含めて国有林での施業方法など新しい林業の取組を紹介してもらい、知見を広げる機会が欲しい」との要望を受け、森林組合や町内林業事業体に対し、大型機械地拵作業中の動画を視聴してもらい、意見交換を実施した。</p> <p>(大型機械地拵の撮影箇所：66と01・と02林小班)</p>	 <p>大型機械地拵に関する意見交換を実施</p>
国有林	3名																								
都道府県	名																								
市町村	5名																								
森林組合	1名																								
林業事業体(森林組合を除く)	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	1名																								
合計	10名																								
<p>～民国連携イノベーション第2弾「新しい造林」の推進と展望～ マルチャーを利用した造林事業現地検討会</p>	<p>12月5日</p>	<p>主催：根釧西部森林管理署 協賛：株式会社北都</p>	<p>●標茶町（御卒別国有林4472林班ぬ小班）</p>	<p>有</p> <table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>49名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>23名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>3名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>1名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>16名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>25名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>117名</td></tr> </table>	国有林	49名	都道府県	23名	市町村	3名	森林組合	1名	林業事業体(森林組合を除く)	16名	研究機関	名	他省庁	名	その他	25名	合計	117名	<p>造林作業の省力化・効率化を推進する。</p>	<p>●農業用トラクタベース機械（マルチャー）の基本性能の説明 ●マルチャーを利用した地拵えや下刈りのデモンストラーション ●マルチャーを利用した天然更新地の密度管理 ●その他マルチャーを利用した作業 ●意見交換</p>	 <p>マルチャーによる密度調整の様子</p>
国有林	49名																								
都道府県	23名																								
市町村	3名																								
森林組合	1名																								
林業事業体(森林組合を除く)	16名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	25名																								
合計	117名																								